

# お姫様とえんどう豆

HA3126



作者：Liesbeth Bos  
For Puk, my little princess  
イラスト：Ulla Haeusler  
ゲーム所要時間：約10分

2~4人用 対象年齢3~12歳

王女様は、王子の結婚相手を探すため、小さなお姫様のベッド準備に大忙し。みんなで王女様を手伝ってあげましょう。ベッドの一番下にはエンドウ豆があり不安定ですので、注意深く積み上げていきましょう。アンデルセン童話「エンドウ豆の上のお姫さま」は、説明書の末尾にございます。ご覧ください。

セット内容  
お姫様：1ヶ エンドウ豆：1ヶ ベッドセット：4（各色マットレス4、クッション4、掛け布団4）  
ゲームボード：1ヶ ベッド：1セット サイコロ：1ヶ 日本語説明書 1枚

-1-

## 難しいルール

ベッドをテーブルの真中に置きます。その中にエンドウ豆を置きます。ゲームボードの緑の面を上にし、ベッドの横に置きます。緑のゲームボードの四角いマスの好きなおところに、お姫様を置きます。プレイヤーはそれぞれベッドセット（1つの色のマットレス、クッション、掛け布団）をとり、自分の前に置きます。サイコロを準備しておきます。

## あそび方

一番髪の毛の長いお友達からサイコロをふりましょう。もしも居なければ、一番小さなお友達からサイコロをふりましょう。出た目の数だけ、お姫様を時計回りに動かします。

お姫様はどのシンボルの上に止まりましたか？



掛け布団



マットレス



クッション

お姫様が止まったしんぼと同じ、マットレス又はクッション又は掛け布団を持っている場合は、そのシンボルと同じ物をベッドの上に積み上げます。

注意：シンボルと同じアイテムが手元に無い場合は、何も置かずに次のプレイヤーの順番です。



手元にある、マットレス・クッション・掛け布団から好きなものをひとつ選び、ベッドの上に積み上げます。



積み上げられたベッドの上から、一番上の1個をとり、他のプレイヤーに渡します。



-3-

## 簡単ルール

まず始めに、黄色い紙製のベッドを右図のように組立てます。（小さなお子様には難しい場合、大人が組立ててください。）



ベッドをテーブルの真中に置きます。その中にエンドウ豆を置きます。ゲームボードの青い面（簡単ルール用）を上にし、ベッドの横に置きます。青いゲームボードの四角いマスの好きなおところに、お姫様を置きます。ベッドセット（マットレス、クッション、掛け布団）を混ぜて、ベッドと青いゲームボードの回りに置きます。

## あそび方

- 一番小さなお友達からサイコロをふりましょう。出た目の数だけお姫様を時計回りに動かします。お姫様はどのシンボルに止まりましたか？



- テーブルの上にある、マットレス・クッション・掛け布団から好きなものをひとつ選び、テーブルのベッド枠の中に置きます。

### ※注意

図のようにマットレスとマットレスの間には、クッション1個と掛け布団1個を必ず積み重ねなければなりません。



- 積み上げられたベッドの上から、一番上の1個をとり、テーブルの上に戻します。

- ★ 不運にも、積み上げられたベッドのタワーが崩れてしまったら、プレイヤーみんなの負けです。マットレス、クッション、掛け布団全てをベッドの上に積み上げることに成功すれば、プレイヤーみんなの勝ちです。王女様は喜び、お城でのパーティーにお姫様を招待していただきます。

-2-

## クッションの塔が崩れたら？

- ベッドの上に積み上げる時、またはベッドの上から取る時に、ベッドタワーを崩してしまったプレイヤーは、崩れた物全てを手元に引き取ります。

### ※注意

誰も触れていない時にベッドタワーが崩れた場合は、皆で協力して元に戻し、ゲームを進めましょう。



## ゲームの終了

- ★ 手元のマットレス、クッション、掛け布団全てを、一番早く積み上げられたプレイヤーの勝ちです。

アンデルセン童話「エンドウ豆の上のお姫さま」

むかしむかし、ある国の王子が結婚相手のお姫様を探していました。王子は世界中を旅して回り、本物のお姫様を探すため、たくさんのお姫様と会いましたが、どのお姫様も彼が探しているお姫様とは違いました。王子は落胆しお城に戻りました。ある夜、激しい雷雨の中、誰かがお城の門をノックしました。王様は門を開けるように命令し、そこに少女を発見しました。彼女の服と髪の毛は、雨と嵐のなか引きずり汚れてずぶ濡れです。しかし、彼女は私が本物のお姫様だと言いました。王女は彼女を疑い、それを確かめるために、特別なベッドを作りました。王女は、ベッドの底にエンドウ豆を置き、その上に多くのマットレスを積み重ねました。マットレスの間には、ケワタガモ（※1）の羽毛布団を置きました。少女はこのベッドタワーの上に眠らなければなりません。本物のお姫様なら、何かですぐ下に隠されていることに気がつくでしょう。翌朝、少女は、眠り心地はどうだったか尋ねられました。彼女は「非常に悪かったわ！」と答えました。「ベッドの下に非常に重いものがありました。」それで、王室は少女が本物のお姫様であると確信しました。王子はお姫様の手を取り、盛大な結婚式をあげました。

※1 ケワタガモ・・・ケワタガモの綿毛は稀少です。ケワタガモの胸羽毛は、この世に存在する羽毛のなかで最高級の素材です。ケワタガモは、自身の羽毛で巣を作ります。羽毛を巣に詰めると、たいへん快適で暖かい場所になるからです。

-4-